

特集

出張!! なんでも意見交換会

湯沢商工会議所
商業部会

×

産業建設常任委員会

令和5年10月19日実施

「議員と語り合おう 出張!! なんでも意見交換会」
今回は、湯沢商工会議所商業部会8名の皆さんから、

「これからの地域経済
の活性化に向けて」

について語っていただきました。



Q. 市内の経済動向について

■市内商店街では売上がピーク時からすると激減し、専門店などの廃業も多く衰退している。

コンビニなどの小売業は物価高騰により売上は上昇しているが、商品の仕入価格も上がっており利益は増えていない。市内事業所は、若干の回復基調にはあるが、人件費や経費の増加など厳しい経営をしている。コロナ禍後は、ゼロゼロ融資（実質無利子・無担保融資）の返済も始まり経営の資金繰りにも影響や不安を感じているとのこと。

商業部会としては、景気の回復は感じられず人材不足などの影響をはじめ多くの課題があり、行政側には補助金等の情報提供をいただくことや商工団体

Q. 事業所等における承継問題について

との連携を一層深め、さらに市内経済の向上につながる施策を具体的に進めるべきとの意見があった。

■事業承継問題に直面する70歳以上の経営者は、全国でおよそ245万人おり、その半分以上は、まだ後継者不在であるとのデータがある。

儲かっている企業であれば引継ぎを検討するものの、将来的な経営への不安や市内経済が疲弊している状況では、親族などへの承継さえも経営や資産の引継ぎなどの点で課題があり、厳しい面があるとのこと。

後継者不在問題の対応として、商工会議所への相

◎意見交換会のテーマについて商工業の振興、中心商店街活性化を所管する、湯沢市商工課 菅課長にお話を伺いました。

石川委員長 市内事業所のコロナ禍後の経済動向や今後の支援策について伺います。

菅 課長 コロナ禍に加え長引く物価高騰の影響も重なり、依然として厳しい経営を強いられている現状にあります。

国による各種経済対策に加えて今後の地域経済情勢を見極めながら、地域経済活性化に向けた具体的な支援策を検討していきたいと考えています。

石川委員長 商店街の活性化策と「にぎわい創出」のための方向性について伺います。

菅 課長 令和8年度開設予定の湯沢市複合公共施設と中心商店街との回遊性や関連性を創り出すことが重要と考えています。

人が集うことのできる拠点の整備やT関連等の事業所の誘致、キャッシュレスを含むデジタル化による消費喚起策、各商店街の通りを活用したイベントの開催などについて、商店街組合等と連携した取組を進めていきます。

